

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	2年	後期		
科目名	母子関係論					
選択/必修	選択	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要			

授業目的	子ども(胎児)と親は特有の強い愛着(attachment)で結ばれている。母子関係の基本的な理論を学び、現代における母子関係、父子関係、子どもを中心とした家族関係の理解と関係発展を阻害する因子を理解し、看護における援助方法を学習する。
授業概要	母児(妊娠中の胎児)関係から母子関係、母子関係と父子関係、子どもと他者との関係等を深く掘り下げて見つめる。既存する母子関係の理論と実際の母子関係を関連付けて理解する。最後に母(父)子関係の中で発生する子どもへの虐待等における母児関係阻害因子の除去と回復への援助を考える。
授業計画	第1~2回 妊娠中の母児愛着と影響要因 第3~4回 不妊治療による母子・父子関係への影響 第5~6回 育児環境による母子関係への影響 第7~8回 児童虐待の予防・対応・支援・再発予防
教材 参考文献等	教科書: 系統看護学講座 母性看護学 [1] 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院 参考書: 必要時提示する
成績評価 基準・方法	参加態度・課題レポート 100%
履修要件	特になし
留意事項 その他	提示した事例を元にグループワークをします。事前にシラバスを確認し、授業内容に関する教科書・参考書・資料を集めて持参すること、および、A4レポート用紙あるいはA4ルーズリーフ、ステイプラー(ホチキス)を持参すること。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師および助産師としての臨床経験および社会活動を活かして、母子関係に関わる問題と支援の考え方を教授する。